

平成 22 年 3 月 5 日

保津川かわまちづくり検討委員会

委員長 石田 紀郎 様

特定非営利活動法人 プロジェクト保津川

代表理事 坂本 信雄

桂川流域ネットワーク

世話人代表 下村 泰史

特定非営利活動法人 亀岡 子育てネットワーク

理事長 田中 美賀子

特定非営利活動法人 亀岡 人と自然のネットワーク

代表理事 上田 稔

保津川の世界遺産登録をめざす会

会長 関本 孝一

桂川（保津川）改修事業に係る「保津川かわまちづくり計画」への
市民意見聴取機会の拡大について（依頼）

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は私たちの活動に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今回は「保津川かわまちづくり計画」について市民の声をより広く聴取する機会を設けていただきたく、書面にてご依頼させていただくものであります。

私たちは、亀岡市民の生活を支え、豊かな自然環境を育てている保津川の景観や環境保全を図るとともに千年以上もの間、都を支えてきた希有の川の文化の見直しと継承に寄与するため、歴史、文化、自然環境、景観、親水性等、様々な視点から市民レベルで活動を行っている団体であります。

このたびの河川改修事業において享受することとなる河川敷の有効活用につきましては、各種団体や有識者らで構成される「保津川かわまちづくり検討委員会」が設置され、様々な観点からの意見を事業に反映していただけると聞き及んでいるところでございます。

しかしながら、構成メンバーを拝見したところ、関係団体や有識者が主体であり、日常的に保津川流域などで活動している市民団体の関係者が少ないものと思われまます。本河川改修後の有効利用に関しては、委員会の審議と併せて公開フォーラムやパブリックコメントの実施など、より多くの流域住民の声を積極的に反映することが不可欠であります。こ

これらの住民参加型のプログラムを通じて、改修後の保津川の河川形態がどのように変化するかを具体的に認識でき、それらと、同時に市民団体の活動の目的や、目指している保津川の姿についてお聞きいただく機会になるものと思われま

す。保津川が、より一層市民の憩いの場となるとともに、長い人とかかわりの中で育まれてきた美しい自然景観が亀岡らしい魅力を次世代に引き継ぐ河川空間となるよう、最大限のご配慮をお願いいたします。

1. 公開フォーラムの開催について

委員会の審議と併せて、委員出席のもとに住民参加型のフォーラムの開催を実施していただきたい。

2. パブリックコメントの実施について

事業担当者、委員のみなさまとともに船で現地の川を下り、随時、現場で状況説明を受けた後に意見交換会を行うような公開型パブリックコメントの機会を設けていただきたい。

3. 委員長の諮問機関の設置について

審議事項のうち、より広範な意見を必要とするものについて、保津川の環境保全に積極的に取り組む市民団体や一般市民、観光業に携わる事業者などで構成される諮問機関の設置をお願いしたい。

4. 今後の桂川流域と地域づくりに関する議論の枠組みについて

今回の事業計画区域も含めた、桂川流域の環境保全と地域振興について、流域住民をはじめ、事業者、NPOなどの各種団体、大学等の学術機関及び行政機関などが、それぞれに役割を担いつつ連携・協力していくためのプラットフォームの創設をお願いしたい。